

## ＝プロフィール＝

医師・日本共産党中央委員会中央委員  
党政策委員会副委員長

■衆院選に比例東京ブロック予定候補  
(東京4区重複)

■長崎県出身。医療現場25年(大田  
病院、大森中診療所、京浜診療所、  
中野共立病院、東葛病院)

■原爆症認定訴訟、水俣病検診、年  
越し派遣村、被災地支援に参加。

街頭での相談活動を仲間達と継続中

衆院比例東京ブロック予定候補 (東京4区重複)

# いのち最優先 谷川智行

たにがわ ともゆき

2024/4/21 N018

発行 日本共産党大田地区委員会



## 一番好きな季節

4月1(月)

午前中は地元支部の方、すがや区議と一緒に、新しい相棒の自転車で大森東の地域をまわり、くらしのこと、病気のこと、福祉作業所に通うお子さんのこと、政治へのおもいなど聞かせていただきました。

自民党の裏金問題への怒りは強く、「テレビでやってるとチャネル変えちゃう。腹が立って見てられない」と言う方が、立て続けにお2人。  
「酷すぎるよね。何とかして欲しい」「頑張つて！」と熱い激励をいただき、「力を合わせて、

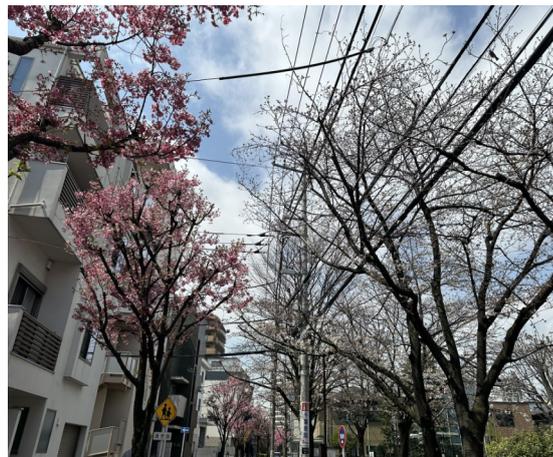


自民党政治を終わらせよう」と意気投合。

「選挙に行くのも嫌になるって人もいるんじゃないかな」という方も。希望を語ることの大切さを改めて感じました。

しんぶん赤旗日曜版をお勧めすると、「あつ、これが…(裏金問題をスクープ、追及してきた新聞)」と見入る方も。

お2人の方が購読をしてくださることにになりました。ご期待に応えて頑張らなければと元気をいただきました。ありがとうございました。



移動中、あちこちで桜が目を楽しませてくれました。1年で一番好きな季節です。

咲き始めたばかりのもの、満開のもの、葉桜になつているもの、色や形も様々。個性がいいなあと感じます。

午後は会議など。今日も精いっぱい頑張ろうと思います。

谷川 智行

## SNS等で

### 寄せられた声を

一部を紹介します。

● 誰しもが桜を幸せな気持ちで見れる世の中になればと願います。生きづらい世の中を変えていってほしいのが共産党だと思い、また共闘し自公政権を終わらせましょう！

● 谷川医師、お仲間の皆様、お疲れ様です。これからもお身体大切に活躍ください♡

# しんぶん赤旗で対話に

今、「しんぶん赤旗」で対話が広がります。続々と出てくる裏金問題・機能的表示食品・軍拡（兵器輸出問題）などなど多面的に報じています。



## 大森駅西口での定例宣伝

**日米首脳会談** で合意された日米軍事同盟の歴史的大変質についても紹介。



事実上、自衛隊が米軍指揮下に入ることに、日本国憲法と相入れないことは、あまりに明らか。日米一体の戦争態勢づくりを食い止めるために力を合わせようと呼びかけました。「ホントに頑張ってね」「自民党、やつつけて」など、熱い激励をいただきました。

## 共同親権

自民党・谷川とむ議員「子どものことを考えると、離婚しづらい世の中がいい…」

なんと恐ろしい発言でしょうか。共同親権推進派の背景がよく分かります。自らのエゴのために、子どもを利用するな！

この方は、かつて、「（同性愛は）趣味みたいなもの」、男女婚は「国のため」などと暴言を吐いていた人物

差別主義者による新たな人権侵害を許す訳にはいきません！

4月11日(木)



京急蒲田駅東口デッキで、地元後援会の皆さん、村石まい子両区議とご挨拶。新社会人、新入学の皆さんもと大勢通られました。清々しい表情が印象的でした。

一人ひとりを大切にされる社会：その人らしく生きられる社会：を何としても実現したいと、改めて決意しました。

今日も、激励やアイコンタクトいただきました。とても励まされます。ありがとうございました

## 新宿ごはんプラス

4月13日(土) 食料を受け取られた方700人、医療や生活の相談に繋がった方38人でした。



「国民健康保険証はもってるけど、医療費が払えないので病院にかかれないうう方が少なくありません。

高い保険料を必死で払い、生活はさらに苦しく…そして、いざという時には使えない…こんな保険制度にしたのが自民党政治。

さらに、今年度、国保料の大幅な引き上げをすすめた自民、公明、維新、都ファなどの責任は重大だと改めて痛感します。

相談会後半、体調不良を訴えられ血圧を測っていた方のことで他のスタッフから声が掛かりました。これは救急車を呼んだ方がいいと判断し、救急要請。

ご本人のお話では、定期的に通院していた病院のスタッフによる心無い対応がきっかけで、治療を中断してしまっていたようです。優しく誠実に対応している医療従事者が大多数だと思えますが、一部の医療スタッフによる問題ある言動が患者さんの心を傷つけ、健

## 今回の料理

- ① サツマイモとキャベツのポテトサラダ、② カボチャの煮物、③ (余っていた肉で) 焼肉



## 声援が力になります

一方で「ボランティアでやってくださって、感謝します。皆さんもお体大切にしてくださいね」などと温かい言葉をかけてくださる方もあり、とても温かい気持ちになりました。引き続き、仲間たちと活動を続けたいと思います。

『新宿ごはんプラス』(HPより) ホームレス状態や生活困窮状態にある人びとを支えるために、東京都内の各団体・個人が連携し、「路上の視点から貧困問題を解決する」ことを目指して、2014年7月に結成されました。毎週土曜に、新宿の路上での食料品の提供と、暮らし・健康の相談会をおこなうほか、貧困・ホームレス問題の啓発活動に取り組んでいます。谷川智行は医師として医療ボランティアとして結成時から参加しています。